

令和 7年 3月「月報」

1 はじめに

一層厳しさを増す安全保障環境の中、我が国の平和と独立を守るため、身をもって責務の完遂に務めている自衛官の処遇改善、勤務環境の改善、新たな生涯設計の確立を喫緊の課題としてとらえ、昨年10月に設置された「自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に関する関係閣僚会議」が12月に取りまとめた「自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に関する基本方針」は、その冒頭で、今や国民の9割が自衛隊に好意的な印象を持っている（内閣府の実施する自衛隊・防衛問題に関する世論調査による）にもかかわらず自衛官の募集は困難な状況にあり、このまま抜本的な策を講じなければ、さらに状況は悪化するばかりであると述べ、「国の防衛という厳しい任務を担うがゆえに、平素から、自衛官は厳しい環境に耐え続けることが当たり前であるという組織文化では、人材確保はおぼつかない。」として、身をもって我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つという任務の特殊性から、様々な負担や制約から逃れることはできないのであれば、その特殊性に見合った処遇を得る必要があると述べています。

具体的な方策は防衛省 Web：ホーム>防衛省について>組織を支える人的基盤>

自衛官の処遇改善に向けた取組（関係閣僚会議）でご覧になれます。

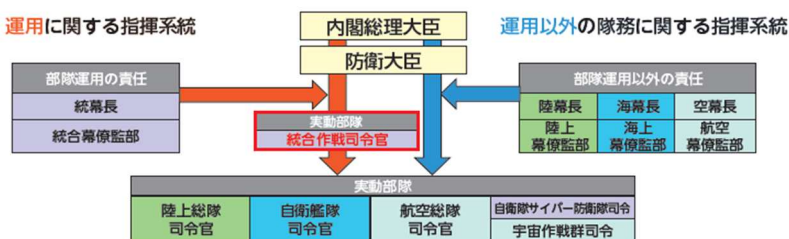
今春はもちろん、今後入隊する方々がよりふさわしい環境で力を発揮できるように期待したいものです。

2 防衛省・自衛隊の活動（各幕 HP 等より）

- (1) 昨年5月の国会で成立した改正自衛隊法で設置が定められた「統合作戦司令部」が3月24日に市ヶ谷で発足する方向で調整されているとことです。

統合作戦司令部と統合作戦司令官の新設により、平素から全国の陸・海・空自の部隊を一元的に運用し、統合運用の実効性を向上させることができ、また、作戦に係る米軍との調整をより緊密に行い、日米共同対処能力を強化することが出来るとしています。

当初は240名程度の人員で発足するとのことです。



(2) 海賊対処行動部隊の活動

昨年 10 月に横須賀を出港した 49 次派遣海賊対処行動水上部隊：護衛艦「むらさめ」(第 1 護衛隊)、56 次派遣海賊対処行動航空隊 (第 5 航空群) は、日夜任務についています。

水上部隊はオマーン湾の公海・アラビア海北部の公海で活動し、323 隻の船舶を確認。航空隊はアデン湾の公海・アラビア海北部の西側の公海で活動し、568 隻の船舶を確認し、その活動海域において特段の異常がないことを確認しました。



(3) 海上自衛隊は、2月10日から18日の間、フィリピン東方海空域で日米仏共同訓練を実施しました。

海上自衛隊は護衛艦「かが」、「あきづき」、哨戒機「P-3C」、米海軍は空母「カール・ヴィンソン」、巡洋艦「プリンストン」、駆逐艦「スタレット」、駆逐艦「ウィリアム・P・ローレンス」、哨戒機「P-8A」、フランス海軍は空母「シャルル・ド・ゴール」、フリゲート艦「アルザス」、フリゲート艦「フォルバン」、駆逐艦「プロヴァンス」、補給艦「ジャック・シュヴァリエ」、哨戒機「アトランティック」が参加し、各種戦術訓練を通じて連携を強化しました。



注：フランス海軍「シャルル・ド・ゴール」は米海軍以外が保有する唯一の原子力空母

3 家族会の活動

(1) 激励会

ア 2月11日、横浜武道館アリーナを会場に、神奈川自衛隊音楽まつりが開催され、自衛隊神奈川地方協力本部支援団体協議会の加盟団体として、神奈川県自衛隊家族会も主催者に名を連ねました。また、主管となる神奈川自衛隊音楽まつり実行委員会には神奈川県市営対家族会の杉田慎治氏が副会長として参画し、運営をリードしました。

プログラムの第1部は入隊予定者激励会で、国歌斉唱に続き、神奈川県副知事と横須賀地方総監真殿海将から祝辞をいただき、入隊・入校予定者の紹介では、会場を埋めた聴衆から万雷の拍手が沸き、これを受けて入隊・入校予定者の代表者が入隊を決意した想いも含め、頼もしい謝辞を述べました。



第2部は、陸上自衛隊横浜駐屯地（中央輸送隊）太鼓部、東海大学付属相模高等学校中等部吹奏楽部による若々しい演奏、定年まで勤め上げた唯一の自衛官出身芸人であるトリトン海野氏によるラップ漫談、横浜市消防音楽隊による演奏とポートエンジェルス119による躍動感あふれるドリル展示、発足70周年を迎えた海上自衛隊横須賀音楽隊（横須賀音楽隊長・真道友樹3等海佐）が次々に登場し、それぞれ素晴らしい演奏や演技が次々に披露されました。フィナーレでは、全出演者が再び舞台上に登場し、横須賀音楽隊と横浜市消防音楽隊の合同演奏により「Believe」を会場一体で歌い、最後に「古き名誉ある砲兵中隊」をバックに、出演者が退場し、閉幕となりました。

今回出席された入隊・入校予定者の皆様が、精進を重ね、自衛隊を支える重要な一人となることを祈念するとともに、同伴されたご家族の皆様には家族会に入会いただき、共に自衛隊を応援していけるよう、引き続き会勢拡大に向けて活動を活性化していきたいと決意を新たにしました。

イ 2月16日、山口県自衛隊家族会山口支部は、山口市吉敷地域交流センターで、自衛隊山口地方協力本部の支援を得て、「山口市自衛隊入隊（入校）予定者激励会」を開催しました。



伊藤山口市長、国会議員、東山口地方協力本部長をはじめ、多数のご来賓の臨席の下、防衛大臣のビデオメッセージに始まり、国歌演奏、重宗家族会山口支部長挨拶に続き、ご来賓から激励を込めたご祝辞を賜り、また、来賓紹介、家族会役員の紹介、そして入隊予定者の謝辞と、激励会は厳粛に進み、自衛隊の若き未来ある精鋭への大いなる期待が感じられました。

激励会開催前に、入隊予定者7名とご家族10名に家族会の説明と入会案内を行い、4家族から入会申し込みをいただきました。

山口地方協力本部の皆様、早朝からご支援いただき有難うございました。



ウ 2月22日。宮城県利府町自衛隊家族会は、利府町役場において、利府町及び宮城地方協力本部の後援のもと「利府町自衛隊入隊予定者激励会」を開催しました。

激励会は、櫻井副町長、新井宮城地方協力本部募集課長、大平第22即応機動連隊本部管理中隊長をご来賓にお迎えし、入隊予定者5名の紹介、

国・人を守るという崇高な使命のため「身近な人を思う心が大切」「仲間を大事にしよう」「あなたの力(ちから)を待っている人がいる」との激励を込めたご来賓の祝辞に引き続き、中谷防衛大臣・村井宮城県知事のビデオメッセージが放映されました。

激励会終了後には、家族会の案内及び入会説明の時間を設けていただき、入会の手続きを致しました。開催にあたり、早期から当日まで準備に携わっていただいた宮城地方協力本部古藤仙台募集案内所長・上間主任広報官をはじめ、皆様に感謝！

エ 2月22日、金沢市で石川県入隊入校予定者激励会が開催されました。

会に先立ち、予定者83名に同行した保護者約150名に対して家族会の活動等を説明をして入会をお願いしました。

皆さん我が子のことであり真剣に聴き入っていました。 説明中の事務局長と理事→



月報で紹介しきれない中、石川県野々市(ののいち)市のInstagramに、野々市市自衛隊入隊予定者激励会で、

栗市長をはじめ、自衛隊石川地方協力本部の梶川本部長、野々市市自衛隊家族会の竹内会長が入隊予定者に対し、激励やお祝いの言葉を贈ったことが紹介されているのを発見しました。

各地・各所でのご活動、有難うございます。

(2) 研修

1月26日、兵庫県 西神戸地区家族会が海上自衛隊阪神基地に寄港した護衛艦「きりしま」の特別公開に参加しました。

説明担当の機関長が当日参加した家族会員のご子息という偶然を装った(?)ご配慮により、参加者の方々に隊員と家族とのつながりを顕著に示し、家族会の存在をお知らせする貴重な機会になりました。



4 事務局からの連絡・お願い

2月末にはお忙しいところ令和7年度事業計画及び令和7年度収支予算書を提出いただき有難うございました。事務局では、それらを取りまとめ、3月11日の理事会での審議を経て、内閣府に報告いたします。

また、年度末でお忙しいところですが、4月18日を期限として令和6年度収支計算書の提出をお願いいたしますので、こちらもご準備宜しく申し上げます。

以上